

哲学思想基本研究Ⅲ (その1)

2単位 2年 (前期)

吉田 昌市・教授 / 人間文化学科

【授業目的】日本あるいは西洋を代表する哲学者の主要著作、あるいはそれに関連する文献を講読する。テキストの精読を通して、哲学的思想を読解し理解するために必要な基礎的訓練を与える。取り上げる思想家の著作が外国語で書かれている場合には、日本語訳を用いることもある。

【授業概要】哲学史上の基本的著作の講読

【キーワード】存在と認識、倫理と宗教、自然、文化、宗教

【関連科目】『ヨーロッパ思想研究』(0.5), 『社会思想研究』(0.5), 『比較思想研究』(0.5)

【履修上の注意】根気よくテキストとつきあってください。平成13年度以降に入学した学生が対象です。

【到達目標】原典に向き合い、原典に即して考える(これは「批判的」であることを排除しない)姿勢を身につけること。

【授業計画】

1. 2011年度は、波多野精一の『時と永遠』を講読する。
2. 授業は15週行い、16週目は成績評価と評価の講評にあてる。

【成績評価】期末の試験は行わない。講読にあたっては、毎回受講生の誰かにその日の部分について発表をしてもらう。その発表の様子や毎回の授業への取り組みの姿勢などに基づいて、総合的に成績評価をする。期末にレポートの提出を求める場合もある。

【再試験】行わない。

【教科書】「波多野精一全集」(第四巻に所収)や単行本(いずれも岩波書店刊)が大学図書館にあるので、受講者はそれを借り出されたい。

【参考書】参考文献等は授業の中で紹介する。

【WEB 頁】http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/tetsugak/phil_index.html

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218885>

【連絡先】

⇒ 吉田 (総合科学部1号館 1N11室 (北棟1階), 088-656-7150, shoichi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜 12時から13時)

【備考】2011年度前期